

Jalāl-ābād

[ゼララバッド第一回来訪]

[1936.9.29~1936.10.31]

be-seir-e Jalāl-ābād

Sept. 29th (meizān 月 6 日) se-shanbe

28 日ニ出發ノ処自動車ナク今日出發トナル。

6 時起床。7 時用意ヲ整へ、7 時半、**サマッド**及**ユースフ**ノ兩助手迎ヘニ來ル。本、着物ヲ入レタルトランク、藥品ト道具ヲ入レタ木箱一ツ寢具トヲ「**カジ**」ニテ、「**サライ・アブトラマン・ハン**」ノ自動車ノ停留所ニ運ブ。初メ商務次官ヲ通ジテ荷物ガアルノデ家ニ迄車ヲ迎ヘテ貰フコトニシテアッタガ自動車ハ郵便局ノ郵便自動車ナルガ為メ送迎ハ出來スト断ラレタノデ荷物ハ自動車車庫ニ運ンダノデア。 **サイドグル**、**モハマッド・ユースフ**ノ兩助手ト共ニ車上ノ人トナル。**ラシッド**、**サマッド**、**ユソフ**ノ兄トガ見送ッテ呉レタ。旅行時間ハ次ノ如シ。

		mile	from Kabul	
Kābul	午前 9 時 30 分	0	0	
Siyā Sang	10 時 00 着	3	3	oil stand アリ。此処ヨリ半哩位行ッタ処ニテ運転手 Passport ヲ忘レタルコトヲ思イ出シ運転手丈 Kabul へ引き返シ。(此ノ間約 1 時間滞ル)
Bagrāmī	11 時 05 発	3	6	
Batkhāk	11 時 35 着	5	11	運転手車ニメロンヲ積ム。麦既ニ発芽一寸位伸ブ村アリ。
Band-e Amīr	12 時 20 着	7	18	途中三度停止ス。溜池アリ。
Khāk-jabār	午後 1 時 50 着	9	27	山ノ中ニシテ嘗テ兵舎アリタル由。今ハ見張リアルノミ。建物ハ此ノ兵舎ノ外ニ商ノアッタ様ナ建物ト「 サライ 」ノ放棄サレタルモノアリ。此処ニテ自動車ノ「ダイナモ」(兵舎ニハ電話アリ)(自分モ商務次官ニ電話ス)破損 カブール ニ電話シ新品ノ到着マデ停車。6 時ダイナモ來ル。修理ヲ待ツ間甚ダ寒シ。薪ヲ搬ブ駱駝隊アリ。馬糞ヲ焚テパンヲ焼クヲ見ル。一通り熱シタル石ニテ焼キ更ニ之レヲ馬糞ノ灰ノ中ニ埋メテ充分ニ焼ク。
	6 時 10 分發			
Tīzīn	7 時 15 分着	10 哩	37 哩	峠下、茶屋ノ所、夕食ヲ取ル。
	8 時 發			
Bārīgāb	8 時 25 分着	7	44	

x	x	x	x	電話局アリ。
Farmān- Beyg	9時40分	14	58	
Jigdalik	10時00分着	3	61	可成[リ]大キナ水無川ヲ挟ンデ両側ニ宿場アリ。休憩50分、宿場デ牛乳ヲ飲ム。茶瓶一ツ1afト云フ50pul丈支払フ。ザクロヲ木框ニ「ブリヤ」ヲ張ッタ容器ニ入レタルモノヲ沢山出荷ス。茲ヨリ何哩カ離レタル処ニTogābト称スル処アリ。茲ヨリ生産ス。此ノ宿ニテ助手ガ「ザクロ」ヲ食シ其ノ実ヲ食ヒ漏シタ処其ノ実ヲ拾ヒ集メテ食セル旅人アリタリ。

30日午前10時50分出発

Namle	1時00分着	29	90	止宿、3時間寝ル。
	5時30分発			
Fath-ābād	6時15分着	9	99	可成[リ]大キナ宿場ナリ。
Jalāl-ābād	7時15分着	15	11.4	

計21時間45分¹、内11時間半休憩及破損修理。10時間15分走路。

9月30日 (meizān月7日) chār-shanbe

9月29日カブールヲ立チ今日ノ午前7時15分Jalāl-ābād着。荷物ヲ一時郵便局ノ倉庫ニ預ケ役所ノ時間迄城内ヲ見ル。

午前10時知事官舎ニ至ル。門番波斯語ヲ知ラズドウシテモ門内ニ入レズ。待ツ内ニ折り良ク係ノ農務局長 (Syyed Balī Shāh) 来リ案内サレテ門内ニ入ル。丁度士官ガ番兵 (巡查ト兵ノ合ノ子) ノ査閲中ナリ。官舎ノ建物ニ入ルト廊下・階段ノ角々ニ番兵直立ス。知事室ニ入ル。番兵モ共ニ来リテ行動ヲ見守ル。

知事ハMohammad Qāsem Khānト云ヒ年配40才位ニ見エ眼甚ダ鋭シ。今迄カブールニテ色々ノ大官ニ面接シテ斯ノ如ク眼光ノ鋭キ人ヲ見タルコトナシ。英語ヲ話サズ、仏語ヲ少シ話サレル由ナリ。日本公使ノ宜シクト云ハレタ言葉ヲ伝ヘル。一通り挨拶ヲ終ヘ係ノ人ニヨリ宿舎へ案内セラル。宿舎ハBāgh-e Shāhī内ノ建物ノ一部ナリ。食事出来ズ全ク困ル。助手ニ頼ンデ着^{ツク}ッテ貰フコトニシタ。テーブル寝台ハ幸ヒニシテ設備サレタリ。又便器モアリ。ボハリー²モアリ。建物ハ全ク王宮ノ如キモノナリ。四人ノ使用人アリ。

午後二時役所ニ行キ農務局長ニ会ヒ明日ノ仕事打合ヲナス。

後バザーニ行キ必需品ヲ購入スル。

¹ 30日午前からの計測と思われる。

² ストープのこと。

夜ハナカナカ暑シ、蚊多クテ困ル。又疲労アリ就眠出来ズ。

10 時大砲ナル。

今日ハ食事及茶ニ飢ヘタリ。仕事ヲスル気ニナレズ。

助手モ並ビノ室ヲ貰フ。然シ暑イノデ外ニ寝ル。

夕食ハ馬鈴薯ヲ煮タルモノナリ。

10 月 1 日 (meizān 月 8 日) panj-shanbe

午前 8 時農務局ニ出頭。農務局ニハ局長ノ外ニ三四人ノ書記アルノミナリ。[] 役所ハ Bāgh-e Shāhī ノ門ヲ出ルト直グ前ノ広場ニアリ。二棟ノ棟割長屋ニシテ洵ニ粗末ナモノナリ。棟ハ両側ニ即チ背中合セニ室ガ出来テ居ル。

直チニ各庭園ヲ廻ル。各庭園トモ略同様ノ作物ナリ。何レモ政府ノ所有ニシテ各々美シキ建物ヲ有シ之レノ散歩園トシテ作ラレタルモノナリ (園丁長 Seyyed ‘Omar)。

Jalāl-ābād ハ Jalāl al-Dīn 王ノ建設ニナルモノニシテゼララバッド市ハーツノ城壁ノ中ニ設ケラレ城外ニハ殆ンド民家ナク只自動車ノ通路ト市ノ城門トノ交叉スル処ニ自動車ノ停泊所トシテ小サキ「バザール」アルノミナリ。此ノ市ハアマヌラ王ノ父ハビブラ王ガ非常ニ愛好シ毎年冬ハ此処ニ政朝ヲ移セリ。其ノ為メ城外ニ新シキ洋風ノ家屋ト庭ヲ沢山ニ建設セリ。此レ現在政府ノ手ニテ管理セラル庭園及家屋ニシテ各庭園建物ハ一ニヲ除イテハ殆ンド利用セラレズ。一ツハ政府ノ賓客用ニ当ラレ他ノ一ツハ「ホテル」(現在修築中)ニ使用セラルルノミ。

斯ノ如クシテ出来タル庭園ナレバ何レモ殆ンド趣ヲ等シクスルヲ以テ次ニ庭園ノ名ヲ揚ゲ作物モ一個所ニ纏メテ之レヲ揚グ。

1. Bāgh-e Shāhī
2. Bāgh-e Kokab
3. Bāgh-e Sarāj al-‘Amārat
4. Bāgh-e ‘Aynīye
5. Bāgh-e Maghbare
6. Bāgh-e Gholām-Kheydar khān
7. Bāgh-e Chehel Sotūn
8. Bāgh-e Zakhīre
9. Bāgh-e Jangal 新シク新設中ニシテ木ヲ植ヘツケルタメナリ。
10. Bāgh-e Shīshom shīshom³ノ木アルヲ以テ此ノ名アリ、兵營ノ馬繫ギ

³ マメ科ノ植物。

場ナリ。

茲モ「アフガン」ノ他ノ地方ト同ジク作物ハ栽培スルノデハナクテ出来ルモノデアルト思フ様ナ栽培ノ仕方デアル。

果樹類ハ全ク植放シ、施肥ハ殆ンド行ハレズ、除草、中耕モナシ。

果樹ト蔬菜トハ果樹ノ大キクナッタモノニ就テモ混作セラル。

各樹種トモ剪定ハ全ク行ハレズ。剪定スレバ樹ガ枯レルト称ス。

蔬菜果樹ハ作條殆ンド与ヘラレズ。只甘藍⁴ハ畦立シテ苗床ヨリ移植セラレタリ（在来ノ四角ナ処ニ撒播ノ形式ヲ取ラズ）。

移植ニハ土ヲ附ケテ之ヲ行ヘト云ヘバ手数ガ掛カカル、手デ除草シロト云ヘバ人ガナイト云ヒ総テ労働能率非常ニ悪シ。

研究心ノナキコトハ又大ナルーツノ欠点ナリ。

○ 蔬菜

甘藍ハ冷床ヲ作り之レニ播種シ後移植ス。冷床ハ木陰ニ設ケラレタリ。年ニ
回栽培、hamal 月—saur 月、sunbula 月—meizan 月。

甘藍ノ青虫ハ之レヲ手デトリ水ニ流ス。

西瓜、メロンハ hamal 月、saur 月ニ播種ス。 }
茄子、蕃茄⁵ハsaur月ニ播種ス。 収穫カザールヨリ 1 ヶ月早シ

茄子ハ saur 月ニ播種シテ春ノ収穫ヲ終レバ葉ヲ家畜ニ与ヘ水モ与ヘズ
meizan 月トナリテ水ヲ与フレバ再ビ発芽シテ実ヲ生ズ。之ヲ冬ニ収穫シテ
移送スル。

春播ノ蔬菜類ハ qaus 月ニ終ル。南瓜ハ現在 meizan 月 10 日デモ青々トシテ居
ル。

落葉樹ノ落葉期ハ‘aqrab 月ノ中頃カラ qaus 月ニナッテカラデアル。

柑橘類⁶ Citrus khānevāde-ye nāranj

次の種類アリ⁷。

nāranj (orange) 熟期 qaus 月

Nārangī

⁴ キャベツのこと。

⁵ トマトの異名。

⁶ p. 118-119 を参照。

⁷ 以下のペルシア語には、カタカナでルビが振ってある。ここでは省略する。

	Peshāwarī	皮ナメラカ、品質上
meta		
	Kāghadhī	
	Kashmirī	
sangtara		
mālta		
	Maghz-e Sorkh	
	Ma‘aūmī	
	Khāss Mālta	
chokūtara (ザボン)		
	Maghz-e Sorkh	
	Maghz-e Safīd	
līmū		
	Kāghazī	
	Kashmirī	
bāleṅg		
	Telā‘ī	黄色、中ノ肉酸アリ、皮甘味アリ
	Kāhī	

柑橘ハ植ヘ付ノ時施肥スルノミニシテ他ノ時ハ施肥セズ。

植付後ハ全ク放任ニシテ手入レナシ。間作サレルモノハ時折り中耕ヤ施肥ヲ行ハル。剪定方法ハ全ク知ラズ。

繁殖。

実生⁸ト挿木ヲ行フ。日蔭ノ地ニ平ニ土地ヲ耕シ肥料ヲ与ヘ之レニ種子ヲ撒播シ、或ハ 1、2 寸ノ間隔ニ枝ヲ 5 寸位ニ切りタルモノヲ挿木ス。枝ノ樹齡太サハ一切考慮ナシ。

挿木ノ活着率ハ 50—90%位ナリ。

実生ニハ接木セズ、挿木ニハ接木スルト称スルガ之レハ全クノ異法ナリ。接木ハ夏ノ芽接ノミナリ。3 年カ 4 年位ノ

モノニ行フモノノ如シ。

介殼虫ノ附着甚ダシ。葉及果実ニ附着ス。

象皮病⁹アリ。樹脂病¹⁰アリ。

⁸ 草木が種子から生長すること。また、生長したもの。

⁹ 糸状虫や数種の細菌の感染によって起こり、患部は腫脹・硬化して象の皮膚のようになる。

¹⁰ 原因が一定でなく、各種寄生菌による場合、害虫の被害による場合、外傷による場

果樹類

・ 枇杷

lūkāt

日蔭ニ苗床ヲ設ケ成長ヨシ。然シ剪定中耕施肥ノ行ハレザルコト他ノ如シ。病氣ノ為メ枯レタルモノ多シ。

此ノ地方トシテハ適シタル作物ナルベシ。一房全部同時ニ熟サズ。

meizān 月終リニ花ヲ生ジ saur 月ニ熟ス。

・ 柘榴

anār

各所ニ良ク生育ス。本年ハ病氣ノタメ落果多カリシ由ナリ。

葡萄

angūr

生育ハ割合ニ良キモ浮塵子^{うんか}¹¹ノ被害甚大ナリ。防除良ケレバ充分生育スベシ。但シ輸送力ナキ為メ、此ノ地丈ノ消費トシテハ栽培ノ余地ナシ。

一房全部一度ニ成熟セズ。Bāgh-e Zakhīreニ植ヘテアル。

・ 椰子（棗椰子？）

khormā

此ノ地ニ良ク適シタルモノナルベシ。然シ輸送力少シ。加工或ハ

乾燥果トシテ貯蔵出来レバ大イニ奨励ノ余地アリ。

桑

tūt

生育ハ良好ナリ。

無花果

anjīr

生育良好ナリ。胴虫¹²ハ相当多キガ如シ。

葉、硬クシテ葉面甚ダ粗雑ナリ。

アーモンド

bādām

桃

shaftālū

杏

zardālū



苗木アルモ生育良好ナラズ

合など、いろいろな原因がある。

¹¹ 半翅目ウンカ科および近縁の科の昆虫の総称。農作物の害虫が多い。

¹² 意味不明。

・一人ノ農夫ガ4ヂェリーブ¹³耕スト云フ。
人口甚ダ少ク労働者少シ。政府ノ園ニテ一人25afノ給料デアッテ労働時間ハ8時
カラ3時迄デ1時間ノ休ミアリ。

10月2日 (meizān月9日) jom'a

今日ハ休日ナルモ局長ニ視察スルコトヲ話セシ処同行スルトノコトナ
リシヲ以テ8時役所ノ前ニ待チシモ来ラズ8時半助手ト三人ニテ出掛ケ
ル。

甘蔗ノ栽培アル畑ヲ見、農夫ニ栽培ノ話ヲ聞ク。

甘蔗栽培

主ナル樹木

棉ノ木	derakht-e panbe	
檜 (小手柏)	sarw	成育良好
落葉松	naju	成育良好
落羽松	gaz	成育良好
檀梅[梅檀]		成育良好
トンド (センダンニ似タル木ナルモ花ガ5弁合花)		成育良好
シシヤム (豆科ノ植物)		成育良好
柳		不良

其ノ他亜熱帯植物名知ラズ。
椰子、桑、アリ。

街路樹ノ新植

シシヤム バーゲ¹⁴ニ近ク知事官舎ヘ行ク道ニpīpal (パイパル) (葉ノ広
イ 葉面滑カニシテ葉脈白シ) ノ新植アリ。

土ニテ壁ヲ廻ラシ或ハ煉瓦ヲ四角ニ積ミ上ゲ其ノ中ニ移植サレタリ。煉
瓦積ノモノハ土壁ノモノヨリ高ク然カモ一方ニ風抜キノ窓アリ。此ノ圍
ノ中ニ水ヲ施スモノノ如シ。

10月3日 (meizān月10日) shanbe

午前8時半農務局長及ビ園丁長ト共ニ他ノ畑 (園) ヲ見廻ル。柘榴ハ本

¹³ 1ヂェリーブ=約2000平方メートル。(尾崎農業)

¹⁴ Bāgh-e Shishomのこと。

年病害ノ為メ甚シク落果セル由ナリ。皮ニ黒褐色ノ病班アリ。蒂¹⁵部腐敗シテ落下ス。稍々^{ショウショウ}悪臭アリ。肉ハ「ドロ」色トナレリ。被害落下ノ堆積サレタルモノニ羽カクシ、小サキ甲虫等沢山集リ居レリ。

特用作物

- 甘蔗 (nā-ye shekar¹⁶) 一年生作物ニシテ相当栽培セラル。
亜麻 ベダンジール 広ク野生シ生育良。
棉ノ木 (derakht-e panbe¹⁷) 少ナシ。
棉 広ク栽培セラル。木ノ丈高キ印度綿ナリ。繊維甚ダ短シ。
薄荷 (pūdīna) 広ク野生ス。
麻 (Sand) 広ク栽培セラル。コトニ「ラグマン」地方既ニ刈取ヲ終ル。
ヘナー (henā) 赤イ色素ヲ取ル。刈取り陰干シ葉ヲ粉ニシテ用フ。
ロッホ (lokh) 水草ニシテ野生シ繩ニスル。日本ノ []ノ大ナルモノノ如シ、
蒲^{ガマ}ノ様ニモ見ラル。
モート (mūt) 牧草。五枚ノ袂刻ヲ有ス。蔓草ナリ。

Laghmān

10月4日 (meizān 月 11日) yak-shanbe

10月5日 (meizān 月 12日) du-shanbe

午前8時園ノ巡察ヲセント出発セル処今日今ヨリ Laghmān ニ行クトノコトニテ直チニ用意シー泊ノ旅程ヲ以テ午前10[時]頃出発ス。同行局長、園丁長、助手二人ナリ。局長ハピストル携帯ナリ。寝具ト胴乱其ノ他採集道具ヲ持参ス。

Jalāl-ābād – Pol-e Darūnta 1時00分 3クロー¹⁸
Jalāl-ābād – Deh-e Chahār Bāgh 2時00分 7クロー
3時間休憩¹⁹昼食ヲトル。3時出発
Jalāl-ābād – Bāgh-e Qal‘ehat-e al-Serāj-e Laghmān 3時30分 14クロー
ラグマンノ郡役所アリ。Hākem-e Kalān アリ。Deh-e Chahār Bāgh ニハ‘Alāqe-dār アリ。
Laghmān ノ Hākem-e Kalān ハ小柄色白キ瘦軀ノ人物ナリ。好人物ニ見ヘル。

15 「へた」のこと。

16 サトウキビのこと。

17 次行の棉とは異なる種類か。

18 距離の単位。1クロー=3,300メートル。(尾崎農業)

19 30分の誤記か。

稍々病身ニ見ユ。一泊スル。夕食及翌日ノ昼食ハ洵ニ結構ナルモノナリ。各所ヲ歩クニ兵隊必ラズ3、4人警備スル。物々シキコト此ノ上ナシ。4日ハ Bāgh-e Qal'ehat-e al-Sarāj ヲ見、5日ハ1、2クロー離レタ処ノ Bāgh-e Ziyārat ヲ見ル。

Jalāl-ābād ヨリ Bāgh-e Qal'ehat-e al-Serāj ニ至ルマデ水量多キ川幅モ広キ川アリ。途中1、2個所砂漠地帯ヲ横切ルモ、他ハ一帯ニ地味肥沃ナル山間ノ平野ニシテ主トシテ次ノ如キ作物ヲ見ル。

米	Berenj	籾ヲ除去セルモノ。後10日モスレバ収期
シャリー		籾ノアルモノ。
玉蜀黍		丁度収穫期ナリ
甘蔗		
マーシュ		
ヘナー	henā	一般ニハhīneト称ンテヲル。収穫中。
綿、麻	sand	

米作ハ全ク日本ノ夫レニ似タリ。

Deh-e Chahār Bāgh 附近ヨリ右手ニ見ヘル山ニハ、山頂ニ至ルマデ樹木山一面ニ生育セルヲ見ル。山形、地質全ク無毛地帯ニ似タルニ此ノ地ニ至リテ樹ノヨリ山ニ茂ルハ不思議ナリ。

*此ノ沙漠地帯デハ大トガ生棲 [棲息]シテ居ル。色黄褐色セリ。(原注)

米作

品種大別ニ種アリ。

栽培法

- ・ 直播法ト移植法トアリ。直播法ハ本田ノ用意出来レバ之レニ直播ス。hamal 月—saur 月ニ直播ス。
- ・ 移植法。苗代。地ヲ耕シ水ヲ入レ草ヲ敷キ十分ニ攪拌シ saur 月ニ播種ス。
- ・ jauzā 月ニ本田ニ移植ス。3本—4本植トシ株間ハ5—6inch ヲ普通トス。正條植ナリ。
- ・ 40日間水ヲ湛へ後ハ10日毎ニ水ヲ与へ一回除草ヲ行フ。
- ・ 特別ナル施肥、中耕等行ハレズ。

調整法

脱穀ハ刈取り(収穫期ハ10月上中旬meizān月ノ中下旬ナリ)タルモノ

ヲ田ニテ乾燥サセ一個所ニ集メ藁ノ破碎ヲ防グ為メ藁ニ水ヲ注ギ牛
ヲシテ其ノ上ヲ踏ミ歩カセ重イ大キナモノヲ引キ廻サセテ脱穀ス。脱
粒シタルモノハ又^{マタ}20ヲ以テ櫛ヒ上ゲテ藁ヲ除キ、粒ト藁屑丈残ル、之
レヲ更ニ風ヲ利用シテ籾ト其ノ他ニ分ケル²¹。

脱皮ハ搗キ臼ニヨル。

収量

一ゼリーブ ヨリ 籾 1 ハルワール 集約的ニ手入セルモノハ
2 ハルワール収アリ。

(小麦ハ4 ハルワールノ収アリ)

籾 1 ハルワール ヨリ 米 50 セール トナル
白米 44 セール トナル

米 1 セール ハ 4—6 afghani

種籾 2—3 afghani

地価

ラグマン 中庸地一ゼリーブ 1,000 af.

水稻ノ株張²²

三本植ガ 20 本、 8 本、 15 本位ナリ。

稗^{ヒエ} (shāmāq) ガ稲ノ中ニ非常ニ多シ。色々ノモノヲ木ノ先ニ結ビツケ田
ニ立テタル^{カカ}暁シハ日本ノモノニ全ク同ジナリ。

病虫害

螟虫^{ズイムシ}²³ノ被害相当アリ。之レハ白穂ガ分散シテ居ル点カラ見テ三化螟
虫

ナルベシ。

蝗^{イナゴ}²⁴害モ相当アリ。

雀害モ相当アリ。

病害ハアマリ認メズ。

根 rīshe 芒 lishe 穂 khūshe

20 フォークのような農機具。

21 この部分^{フウセン}風撰のことについての説明。

22 主にイネ科植物が根に近い茎の節から枝分かれすること。

23 ニカメイガの幼虫。イネの葉鞘(ようしょう)や茎の内部を食う害虫。

24 イナゴ属のバッタの総称。稲の害虫。

棉作

綿 3 チャラック²⁵ 1 afghani
panbe-dāne²⁶
konjāre²⁷
jovāz²⁸

海綿（印度綿）ノ如シ。色白キモ纖維甚ダ短シ。

- ・ラグマン^イー帯ニ水多ク溝ニハ蒲^{ガマ}、葭^{ムクダ}、オモダカ、藺、タデ等ヨク生育ス。
- ・Bāgh-e Qal‘ehat-e al-Serājニハ柑橘、ホルマー²⁹良[ク]生育ス。
ホルマー（khormā）ハ雌雄異株ナリ。レモンハ試植セルモ枯死セル由ナリ。

Ziyārat-e Sahr-e Līmak Sāheb

10月5日ハ早朝ニ起キ出デ Ziyārat-e Shahr-e Līmak Sāheb ヲ見ニ行ク。

砂漠ノ中、Ziyārat ニシテ圃ノ中ニハ草花ヤ木アルモ作物ノ栽培ハ見込ナシ。庭内ニ乾魘ノ時ノ飲用水ノタメ水溜アリ。セメントノ溜池ヲ作り上ニ美シキ「ドゥーム」ノ家ヲ建テタリ。中ニ魚多量ニ棲息ス。

此処ヨリ帰り Bāgh-e Qal‘ehat-e al-Serāj ヲ回り、此処ニテ昼食ヲトリ、3時頃出發シ、7時頃 Jalāl-ābād ニ帰ル。

途中車ヲ停メテ2回ノ祈禱、又茶屋ノ前デモ車ヲ止メテ水煙草ヲ喫ス。能率ノ悪キコト此ノ上ナシ。

庭園視察中雑役夫ノ働ラクヲ見ルニ兵士ガ銃ヲ以テ之レヲ看視シテ行ハセル。

又此ノ中ノ建物ハ立派ナルモノナリシナラント思ハルルモ甚シク破損セリ。

本来此ノ庭園ハ Jalāl-ābād ガ「アブドラマン」王、「ハビブラ」王ノ時代ノ避寒地デアッタ頃設ケラレタルモノニシテ相当結構ニシツラヘラレタルモノナルベシ。

今ハ全ク目モ当テラレヌ迄ニ破レ只一棟丈修理中ナリ。

Laghman ハ年ニ1、2回ハ降雪ヲ見ル。又 Jalāl-ābād ヲヨリ14クローノ遠隔地ニアルタメ蔬菜果樹ハ輸送力及貯蔵力ノアルモノニ限ラル。

米作ニ次イデ柑橘、枇杷等良好ナル作物ナルベシ。

10月6日（meizān月13日）se-shanbe

²⁵ 1チャラック(chāarak)=1キロ750グラム。(尾崎農業)

²⁶ 綿の種子。

²⁷ 綿実油（黒柳）。

²⁸ 綿の実（ヴルフ）。

²⁹ ナツメヤシ（棗椰子）のこと。

朝カラ Bāgh-e Serāj al- 'Emārat デ柑橘ノ標本採集ヲナス。
園丁長及ビ 2、3 人ノ人、手伝ヲシテ呉レル。

サングタラー³⁰ sangtare

枝ニ刺ナシ。果小サク、果皮粗、剥皮容易、味良、蜜柑ニ類似ス。

マルター mālte

枝刺ナシ葉大ニシテ小サキ複葉アリ。葉ノ基部ニ小棘アリ。実大キク油房大。剥皮容易ナリ。味最良。

ma'asūmī ハ mālte ノ一種ナルモ果底ニ輪アリ。又果皮ニ縦溝及ビ溶岩ノ流痕ノ如キモノアリ。小刺ナシ。

メター mete

葉色他ノモノニ比シ稍々浅色ナリ。葉基ニ小刺アリ。果形レモンニ似テ大ナリ。果皮滑カ薄シ、味甘、剥皮困難、果肉軟カク、囊皮薄シ。一寸日向夏³¹ノ如キ感アリ。

バレング bāleṅg

枝ニ大ナル刺アリ。果形オレンジ形ニシテ大。果ノ先尖ル。果皮粗、酸味強シ。

bāleṅg-e Tala'ī ハ果皮黄色ニシテ搾酸用ニ用フ。

オレンジ nāranj

nāranj 葉ノ基ニ刺アリ。葉形大。果皮硬ク、果形ハ球形ナリ。果皮ハ稍々滑カ、シカシネーブルノ如キ果皮ナリ。輸入種ナリ。

nārangī 複葉ナシ。果ハ倒卵形。果皮 nāranj ニ比シ粗。

nāranj-e Vatanī トモ云フ。

チョコタラー chokū-tare

葉大キク複葉ナリ。果形最大ノモノナリ。

sorkh種ハ果肉赤ク味良。果皮滑カニシテ軟カク kāghazi³² トモ云フ。

sefid 種、果肉白ク果皮粗、果形大ナリ。

リムー līmū

³⁰ 以下の説明については、P.110 の記述を参照。

³¹ ミカン属の宮崎県原産の果物 (*Citrus tamurana* hort. ex T.Tanaka)

³² 意味は「紙のよう」。

葉小サク枝葉細カク繁ル。複葉ナシ。果形略々球形ニシテ小サシ。香良シ。刺多シ。

浮塵子^{ウシカ}及介殼虫ノ附着多シ。新梢ノ先枯レル。蜜ノ分泌多シ。

- ・電話局ニテ気温ヲ調ベル。局ノ交換手ガ毎日室内ノ気温ヲ調べテ居ル。

asad 1	朝 35	正午 39	4 時 38.5	
sunbula 1	朝 30	正午 35	4 時 33	夜半 31
meizān	朝 28	正午 30	4 時 28	夜半 27

- ・午後 4 時頃調査終了セルニ付キー先ヅカプールニ帰ルタメ知事ニ挨拶ニ行ク。

10 月 7 日 (meizān 月 14 日) chār-shanbe

今朝ハ愈々出発。午前 6 時起床。荷造リヲスル。

ホルマー、及レモンヲ土産トシテ園丁長ヨリ届ケラレル。

8 時自動車ノ用意出来タリトノコト故ニ自動車乗り場ニ行ク。シカシ自動車不良ニテ乗ルヲ得ズ其ノ俣其処ニ待ツ。

持参セル殺虫剤

生石灰	5 lb	瓶 5 本
硫酸銅	5 lb	5 包
消石灰	3 lb	3 包
除虫菊	3 lb	3 包
硫黄	3 lb	3 包
石鹼	3 lb	2 大 1 小

ヲ残シ園丁長ノ領収書³³ヲトル。

園丁長、自分ハ良ク働クモノナルコトノ証明書ヲ呉レト望ムノデ助手ニ書カセテ与ヘル。園丁長代理モ之ヲ請求セルガ与ヘザリキ。

自動車ヲ待ツコト久サシカリシモ、遂ニ来ラズ昼食ヲトル。3 時頃藤芳³⁴、上ノ土³⁵両土木技師^{マツ}入国セラル。之レト面談 3 時半漸ク車ヲ捕ヘ上乘、夜行ニテカプールニ向フ。

- ・ハネサマン^マ用事モナイノニ朝早クカラ来テ待ッテ居ル、之レハ政府ノ役人デアッテ「ゼララバッド」ノ各政府所有ノ建物ヲ管理スル役目デアアル。如何ニモ何

³³ 領収書の現物がノートに添付してある。

³⁴ 藤芳義男氏。

³⁵ 上ノ土實氏。

カ慾シソーナ態度ナノデ金 5 afヲ与ヘル。平氣デ受ケトル。礼モ云ハヌ。少イト思ッタノデアロウ。与ヘル者モ良クナイケレドモ冬又来ナケレバナラヌノデ³⁶与ヘタノデアル。此ノ様ナ役人ヲ置テ居ルコトハ洵ニ良クナイコトデアルト思フ。

- ・自動車ヲ待ツ間ニ 2 ツノ事柄ガ自分ノ注意ヲ惹イタ。
 1. 囚人ガ巡查ノ看視ノ下ニ旅人カラ金ヲ貰ッテ歩イテ居ル。之レハ巡查ガサセルノカ、本人ガ巡查ニ願ッテ特別ニサセテ貰フノカ知ラナイケレドモ、市人ノ説明デハ彼ハ所持金ナキタメ空腹故物乞ヒスルノダト云ッテ居ル。日本デハ考ヘモツカヌコトデアル。囚人ガ物乞シテ歩クノニ巡查ガコソコツ後ヲ附テ歩クノモ異様デアル。
 2. 僧侶ノ子 12—13 才位ノガ銃ヲ持ッタ護衛兵ト共ニ来タ。市民ガ彼ニ特別ニ丁寧ナ挨拶ヲスル。之レニ対シテ甚ダ鷹揚ナルノミナラズ椅子ヲ持テ水ヲ持テト傍デ見ルモ嫌ナホド権柄ヅクノ命令ヲシテ人ヲ扱キ使フ。僧侶ノ權威洵ニ恐ルベキモノアリ。市中ニ狂人ノ多キコトモ又大イニ人ノ注意ヲ引ク。
- ・午後 3 時 40 分 Jalā-ābād ヲ出発ス。町ヲ外レタル所ニテ運転手ト乗客ト賃金ノコトニテ喧嘩ヲ始ム。運転手鞭ニテ乗客ヲ打ち、客ハ運転手ニ噛ミツキ相方怪我ヲスル。
- ・Jalā-ābād カラ見ル西南方ノ山ニハ雪アリ。恐ラク昨年ノモノナリ。

10 月 8 日 (meizān 月 15 日) panj-shanbe

朝早ク Batkhāk ニ着ク。

未ダ時間前ナルヲ以テ税関出張所ノ開庁ヲ待ツタメ 7 時半迄停車。寒サ甚シク然ラバトテ泊ル所モナク彼処此处ノ風下ニカクレテ寒サヲ避ケル。6 時頃茶店ヨウヤク目覚メ火ヲ起ス。ヨウヤク此处デ暖ヲトリ茶ヲ喫シテ蘇生ノ思ヲスル。アフガンノ旅ハ全ク不自由、不便デアル。時ニハ怖ヒ思ヒサヘスル。アフガン人ハ旅トハコンナモノト思ヒ込ンデ居ルノデ我々程ニハ不文化ヲ感ジナイ様デアル。

³⁶ p. 123 以下のように尾崎は実際に再訪している。

思ヒ附キ

- ・用材ニ乏シキ此ノ国ニ於テ竹 bāngas[?]ノ栽培ハ重要ノコトナリト思フ。
- ・観賞、果樹、蔬菜ノ栽培ガ混同サレテ行ハレテ居ル。之レハ分離サセナケレバナラス。
- ・労働能力ガ悪イ。
- ・仕事ノ専門家ヲ養成シナケレバナラス。
- ・何処ノ庭園モツツキクサシテアル[ママ]。試験圃或ハ模範園ヲ作ル必要ガアル。
- ・今迄ノ仕事ハ庭園ノ保存ニ重キガ置カレ或ハ庭園ト云フ先入主ニ支配セラレテ栽培サレテ居ル。之ノ觀念ヲ改メナケレバナラナイ。
- ・綿業、米作、蔬菜、普通果樹、熱帯果樹、試験地(場)ヲ必要トス。
- ・柑橘栽培ハ最モ望ミアルモノナリ。之レニ全力ヲ注ギ第二ハ促成栽培デアル。

10月11日 (meizān 月 18日)

復命書ノ予報ヲ提出ス。

10月31日 ('aqrab 月 8日)

本復命書ヲ提出ス。

Jalāl-ābād

ゼララバッド第二回目来訪

[1936.11.23~1936.12.10]

1936年11月23日 (1315年 qaus月 1日)

1936年11月24日 (1315年 qaus月 2日)

1936年11月25日 (1315年 qaus月 3日)

22日ニ助手7名及バラート³⁷ト荷物ヲ全部貸切りローリーニテ送り出ス。最初役所デハ乗合ニテト云フコトナリシモ荷物多カリシタメ貸切ヲ請求セリ。11時出発、チャーマンニテ更ニ仕事用ノ道具ヲ揃へ積ミ出ス時ニ1時半。ラシッド一名ヲ残シテ23日出発用ノ乗用車ノ準備ヲナサシム。

・23日午前8時ニ自動車来ル予定ナリシモ11時頃漸ク来ル。商務省ノ手續緩慢ナリシタメ23日朝漸ク自動車ノ所有者 Mr. Yorio ニ手紙到着セル由ニテ斯克ハ晩レタルナリ。油代ハ商務省ニ現金ナキ為メ一時立替へ[テ]呉レトノ手紙ヲ次官名ニテ受ケタルヲ以テ自分ニテ油ヲ購入シテ12時カブールヲ出発ス。「テジン」ニテ2時過ギナリ。昨日出発シタル先行ノ自動車ガ破損シ此処ニ停滞ス。之レヲ遺シテ自分等ノ自動車ハ出発ス。7時「ニムラ」ホテル着。一泊。

・24日午前9時「ニムラ」ホテル出発。油ナキタメホテルニテ1 gallonヲ得テ約三十分位迄来タルニ又油ナクナリ停車ス。他ノ車ノ来ルノヲ待つコト約1時間1 gallon 8 afghany (普通ハ5.20 - 5.75)ノ油ヲ得テ進行、フテアバッドニテ更ニ2 gallonノ油ヲ得テ12時Jalal Abadニ着ク。「ボーグ・シャイー」ニー室ヲ貰フ。

「バラート」到着セザルタメ顔洗フコトハ勿論食事モ出来ズ。昼食ハ昨日出発ノ時相沢³⁸様ニ作ッテ貰ッタオ握り三ヶアリ。之レニテ辛ジテ済ス。夕食ハ何モナク腹ハ空クノデ助手ニ頼ンデ街カラ鶏肉トバレイショヲ煮タモノトパンヲ買ッテ来テ貰ッテ食ベル。此ノ食器ノ汚イコト普通ナラトテモ喉ヲ通ラヌデアラウガ飢テ居ル今ハ其ンナコトナド云ッテハ居レヌノデガツガツト食ベタ。

25日朝ハ昨夜ノ例ノキタナイ茶碗トオ盆ニオ茶トパンヲ持ッテ来テ呉レル。仕方ナシニ之レニテ朝食ヲスマス。

10時頃「バラート」及助手ノ一行ガ到着ス。机類ハ3ツトモ全部壊レ、ランプノ「ホヤ」モ破レタ。他ハ被害ナシ。昼食ハ晩レテ2時御飯丈炊ケタノデ漬物デ茶漬ケヲカキ込ム。御飯ヲ食ベタ様ナ気持ハ少シモナイ。夕食モオ茶漬ケ、マダ本当ニ腹ノ中ハ納ラナイ。湯ヲ沸シテ貰ッテ体ヲ

³⁷ ボーイの名前。

³⁸ 相澤洲二氏。

拭キ体丈ハ奇麗ニナル。

11月25日 (qaus月 13日)

総理大臣ノ処ヨリ苺ヲ21日 ('aqrab月 29日)ニ、又ボブールニ石刀栢^{まつぼうど}³⁹ヲ同日ニ得テ持参セルモノヲ午後4時ヨリ移植ス。但シ苺丈移植ヲ終了。自分トシテハ全部ヲ終了スル予定ナリシモ「ラマザン」ニテ助手ヲハジメ農夫ハ空腹ナリトテ働カズ仕方ナク中止セリ。此ノ制度ハ「アフガニスタン」ノ進歩ヲ甚ダシク^{ソガイ}阻碍ス。

11月26日 (qaus月 4日)

午前8時^{まつぼうど}石刀栢ヲ植付スル。
午前10時農務局長ト共ニ知事ニ挨拶ニ行ク。
此ノ前ノ時ハ知事ハ一寸難シイ顔ヲシテ居ッタガ今度ハ軟イ。色々ト「ペルシャ」語デ話ヲシタ。此ノ国ノ人ガ誰モ云フ様ニ、日本ハ我国ト同様東洋ダ、我々ハ東洋人ダ、互ニ手ヲ取り合ッテ進ンデ行カネバナラヌ、我々ハ日本人ヲ好キデアルト話サル。甚ダ親シク色々ノ話ヲサレタ。知事ノ名前ハ Mohammad Qāsīm Khān デアル。

11月27日 (qaus月 5日)

午前中庭ヤ町ヲ廻ッテ見ル。

11月28日 (qaus月 6日)

豌豆ノ播種ヲセントシテ「サラジ・ラーマラット」ニ行ッタ処園丁ガ仕事ヲスルコトヲ^{がえん}肯ジナイ。自分ノ仕事ノ分担ガ増[エ]ルノデ嫌ガルノデアアル。仕方ガナイノデ中止シテ農務局長及園丁長ニ話シ専属ノ農夫2人ヲ貰フコトニスル。

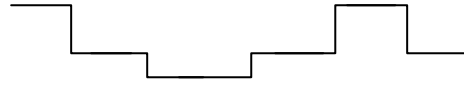
豌豆ノ種子ヲ持参スルコトヲ忘レタノデ先ニ来タトキ残シテ置イタモノヲ貰フコトニシタ。

11月29日 (qaus月 7日)

³⁹ アスパラガスの異名。

畦立ヲシテ豌豆播キノ準備ヲナス。畦巾ハ2呎^{まがき}藩2呎ト命シタルモ意通ゼザリシカ藩2呎ニ畦3呎トシテシマッタ。

畦 植畦



ノ形式ニアル。畦ハ種子ヲ其ノ俣

マキ後水ヲ与ヘタ。他ノ畦ハ畦立ヲ終ルト共ニ水ヲ与ヘテ作土ノ準備ヲナス。

豌豆ノ種子ハ5年前ニ独乙カラ輸入シタルモノナル由ナリ。発芽力アルヤ否ヤ疑ハレル。

11月30日 (qaus月 8日)

朝9時豌豆ヲ水ニ浸ス。

助手ニ英語ノ講義ヲナス。柑橘及甘蔗ノ調査課題ヲ与フ。

12月1日 (qaus月 9日)

朝ヨリ天候定マラズ。豌豆ヲ植ル^{ウエ}ベク整地セル場所ノ乾燥状態ヲ見ル。未ダ播種シウル程度ニナラズ。然レドモ雨降レバ数日播種シ得ザルヲ以テ浸漬^{しんじ}セル種子傷ムベシ、故ニ土地尚湿リアルモ11時ニ播種ス。

種子ハ24時間浸漬トナル。

当地到着以来毎日午後ハ曇レリ。然シ今日ハ朝カラ曇天ニシテ時ヲリハ雨模様ナリ。

12月2日 (qaus月 10日)

昨夜ヨリ天候全ク恢復シ今日ハ上天気ナリ。昨日ノ曇リニテ北方ノ山ニ雪積レリ。

豌豆ノ種子ヲ播ク。乾燥地ニ48時間浸漬セル種子ヲ播キ直チニ水ヲ与フ。

豌豆ノ種子ハ4℃ニテ発芽シ、採種後1年ハ76%、2年ハ60%、3年ハ30%、4年ハ10%ニ発芽力減少スルコトヲ説明ス。

温床地ヲ物色ス。

12月5日 (qaus月 13日)

葎ノ中耕ヲナサシム。冬期中ニ於ケル仕事ノ表ヲ提出ス。英語ニテ翻訳
デキヌトノ知事ノ話ナリ。

旅費ノ清算書ヲ提出セルモ金ナキ故カブールニテ受クベシト却下セラ
ル。

12月9日 (qaus月 17日)

朝商務省ヨリ Qandahār ニ行クベシトノ命アリタリトテ知事ヨリ伝達アリ。
商務省ニ電話ス (事情ヲ知ル為メ)。然シ何ヲ知リ得ル処ナシ。

12月10日 (qaus月 18日)

朝知事ニ告別ノ挨拶ヲナシ午後1時出発ス。乗用車ヲ州庁ニテ世話シテ
貰フ。自動車151号運転手ハ「ミルザ・モハマッド」ナリ (90 afghani
政府支払ナリ)。途中3度ノ故障アリ。2回ハ自分デモ自動車ノ後押ヲナ
ス。午前1時カブールニ帰着ス。

12月16日 (qaus月 24日)

バラート帰着ス。

3月5(?)日 (hūt月 15日(?))

助手ゼララバッドカラ帰ッテ来ル。

支払買物⁴⁰

9月29日 (meizān 月 6) se-shanbe

馬車	1.50		
メロン	1.00	}	2.50
夕食 (Tīzīn ⁴¹)	1.00		
牛乳 (Jagdalak)	0.50		

9月30日 (meizān 月 7)

ニムラホテル	10.85		
チップ (ニムラ)	1.65		
運転手 チップ	4.00		
チャプリ ⁴²	7.00	}	14.00
洗面器	3.00		
茶器	4.00		
Hotel boy (ゼララバッド)	10.00		

10月2日

デスタルハン Dastar Khān 2.50

10月6日

チャプリ	7.00	}	29.00
デスタルハン ⁴³	22.00 (6枚)		

10月7日

Boy tip	10.00
ハネサマン ⁴⁴	5.00
巡査	0.50
ジョハリ ⁴⁵	1.00

10月8日

自動車	18.00
チップ	2.00

⁴⁰ ノートの最後頁から記載されている。一部は赤鉛筆でチェックのマークを入れており、消される項目もある。

⁴¹ (テジン) 地名のこと。

⁴² 人名のことかと思われる。

⁴³ 人名のことかと思われる。

⁴⁴ 人名。

⁴⁵ 人名。

ガデイ⁴⁶

1.50

⁴⁶ ガーヂィーという人名かと思われる。

食費

9月30日 (meizān 月 7)	茶 0.50 砂糖 0.50 脂 0.50 馬鈴 0.30 炭 0.25 唐辛 0.05 5.00 ⁴⁷ ザルチョーバ ⁴⁸ 0.05 塩 0.05 玉葱 0.05 油 0.25 パカー0.25 パン 0.60 計 3.35
10月1日 (meizān 月 8)	パン 0.20 玉子 0.50 牛乳 0.25 ロガン 0.75 肉 0.50 米 0.50 5.00 炭 0.50 メロン 1.2 計 4.40
10月2日 (meizān 月 9)	パン 0.20 牛乳 0.40 卵 0.25 茶 0.50 砂糖 0.50 パン 0.30 5.00 脂 0.75 米 0.50 肉 0.50 馬 0.50 メロン 1.00 計 5.40
10月3日 (meizān 月 10)	炭 0.50 卵 0.30 牛乳 0.40 パン 0.10 米 0.50 脂 0.75 5.00 馬肉 1.00 メロン 1.00 油 0.30 塩 0.10 計 4.95
10月4日 (meizān 月 11)	パン 0.20 ブラ 0.75 茶 0.50 牛乳 0.40 計 1.85
10月5日 (meizān 月 12)	肉 1.00 メロン 1.35 パン 0.30 5.00 計 2.65
10月6日 (meizān 月 13)	牛乳 0.40 パン 0.10 卵 1.00 パン 0.40 炭 0.50 メロン 1.35 5.00 米 0.50 脂 0.75 肉 1.00 メロン 1.40 砂糖 0.50 計 7.90
10月7日 (meizān 月 14)	パン 1.00 メロン 1.40 5.00 メロン 1.25 茶 1.00 計 4.65

⁴⁷ 支給された金額のことかと思われる。

⁴⁸ ターメリックのこと。

10月8日 (meizān 月 15) 帰着

交通費	66.00	}	103.50
食費	37.50		
自分買物	45.50		
計	149.00		

1936年11月23日 (1315年 qaus 月 1) 以降

11月23日 (qaus 月 1)	自動車運転手ローリーチップ	10.00	
〃	自動車運転手 乗用車 チップ	10.00	
〃	油ガソリン 8 gallon@5.75	46.00	} 79.75 Kabul standニテ
〃	morbil oil 1 gallon	20.60	
〃	ギリス ⁴⁹ 1 gallon	2.35	
〃	ピナ 2 gallon	11.00	
11月24日 (qaus 月 2)	ガソリン 1 gallon	8.00	
	路上ニテローリーヨリ		
〃	ガソリン 2 gallon		
	ファテイヤバッドニテ	11.20	
〃	ガソリン 13 gallon		
	ゼララバッド	72.80	
〃	ニムラ・ホテル	38.00	
〃	ニムラ・ホテル boy チップ	3.00	
11月25日 (qaus 月 3)	ボーグ・シャヒーノ boy3 人	15.00	
12月9日 (qaus 月 17)	ラシッド、アユーブ貸付	80.00	
12月10日 (qaus 月 18)	帰りノ運転手ニチップ	20.00	
〃	ボーイ及ハネサマンノ親方ニ各 5 af.	10.00	
12月16日 (qaus 月 24)	荷物運搬ノローリー代	80.00	

⁴⁹ グリースのことと思われる。